

平成 30 年 3 月 20 日

## 平成 32 (2020) 年度 教育学部アドミッション・オフィス入試の実施について (予告)

奈良教育大学

奈良教育大学では、平成 32 (2020) 年度教育学部入試 (平成 31 年度実施) において、新たにアドミッション・オフィス入試を実施します。詳細については下記のとおりです。

なお、下記以外の詳細については「平成 32 (2020) 年度入学者選抜要項」(平成 31 (2019) 年 5 月下旬配布予定) 及び「平成 32 (2020) 年度教育学部アドミッション・オフィス入試募集要項」(平成 31 (2019) 年 7 月下旬配布予定) をご参照ください。

### 記

#### 1. 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

- ・ 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
- ・ 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
- ・ 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
- ・ 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
- ・ 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

#### 2. 入学の時期

平成 32 (2020) 年 4 月 1 日

#### 3. 出願要件

将来、奈良県下の学校教員になることを希望する者

#### 4. 募集人員 (※)

40 名

※各専修の募集人員内訳は「平成 32 (2020) 年度教育学部募集人員内訳の変更について (予告)」  
(平成 30 年 3 月 20 日公表) をご参照ください。

## 5. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、平成 32（2020）年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目を受験した者。

(1) 高等学校(特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び平成 32（2020）年 3 月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)及び平成 32（2020）年 3 月修了見込みの者（※）

※高等専門学校の第 3 年次を修了した者。

(3) 学校教育法施行規則第 150 条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び平成 32（2020）年 3 月末までにこれに該当する見込みの者

ア. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ. 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ. 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号)

オ. 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

カ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 32（2020）年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者

## 6. 出願書類

入学願書、志望理由書、活動報告書 等（※）

※詳細については「平成 32（2020）年度教育学部アドミッション・オフィス入試募集要項」

（平成 31（2019）年 7 月下旬配布予定）をご参照ください。

## 7. 試験日程

(1) 出願期間

平成 31（2019）年 10 月 1 日（火）から 10 月 7 日（月）まで

(2) 第 1 次選考（教育学部共通選考、専修別選考）

平成 31（2019）年 10 月 26 日（土）及び 10 月 27 日（日）

(3) 第 2 次選考（大学入試センター試験）

平成 32（2020）年 1 月 18 日（土）及び 1 月 19 日（日）

## 8. 合格者発表等（※）

(1) 第 1 次選考 平成 31（2019）年 11 月下旬

(2) 第 2 次選考 平成 32（2020）年 2 月上旬

※合格者発表等の日時については「平成 32（2020）年度教育学部アドミッション・オフィス入試募集要項」

（平成 31（2019）年 7 月下旬）をご参照ください。

## 9. 選考方法

### (1) 第1次選考

#### ア. 実施日時 (※)

平成 31 (2019) 年 10 月 26 日 (土) 教育学部共通選考

平成 31 (2019) 年 10 月 27 日 (日) 専修別選考

※第1次選考実施時間については「平成 32 (2020) 年度教育学部アドミッション・オフィス入試募集要項」(平成 31 (2019) 年 7 月下旬) をご参照ください。

#### イ. 教育学部共通選考

i. 志望理由書等に基づき、「本学への志望理由」「学校教員になりたい理由」「奈良県下の学校教員になって取り組みたいこと」を集団面接の形式で確認した後、学校教育にかかるテーマ等を示した上で、集団討論を課す。

ii. A、B、C の 3 段階評価とする。

#### ウ. 専修別選考

i. 専修ごとに理解力・表現力試験等を課す。詳細については別表 1 のとおり。

ii. 配点は 450 点とする。

#### エ. 共通加点枠

i. 配点は 30 点とする。

ii. 加点項目は下記のとおり。

① 高等学校在学期間中、教育または人間形成に貢献するボランティアに 30 時間以上従事した場合 (高等学校、ボランティア団体等がその旨を証明できる場合に限る)

② 高等学校在学期間中、各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラムを 30 時間以上受講し、修了した場合

③ 教育学部共通選考で A 評価を得た場合

iii. ①または②に該当する場合の加点は 20 点 (ただし、①及び②の両方に該当する場合の加点は 20 点を超えないものとする) とし、③に該当する場合の加点は 10 点とする。

### (2) 第2次選考

ア. 実施日時 平成 32 (2020) 年 1 月 18 日 (土) 及び 1 月 19 日 (日)

イ. 第1次選考合格者に、資格試験として大学入試センター試験を課す。詳細については別表 2 のとおり。

## 10. 合否判定の基準

### (1) 第1次選考

ア. 専修ごとに、専修別選考 (配点 450 点) の得点に共通加点枠 (配点 30 点) の得点を加えた総点の上位者から順番に、第1次選考合格者を決定する。なお、第1次選考合格者は募集人員を超えないものとする。

イ. ア. のうち、専修別選考の得点率が 6 割未満 (270 点未満) の場合、第1次選考不合格とする。

ウ. ア. の得点にかかわらず教育学部共通選考の評価が C の場合、第1次選考不合格とする。

### (2) 第2次選考

ア. 大学入試センター試験において各専修が指定する科目の合計点が 5 割 5 分以上の場合、第2次選考合格とする。

イ. 各専修が指定する科目を受験していなかった場合は不合格とする。

※第2次選考合格者が募集人員に満たない場合、前期日程の合格発表数にその員数を追加します。

以 上

(本件に関するお問い合わせ先)

奈良教育大学入試課

TEL:0742-27-9126

FAX:0742-27-9145

Mail: nyuusi@nara-edu.ac.jp

専修名	理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教育学	教育に関する資料を提示し、そのことについての講義を行った上で、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答を行い、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
心理学	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
幼年教育	幼児教育・保育に関する講義等を行い、その内容に即した課題のレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーション等を課し、乳幼児や幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
特別支援教育	人間（障害がある場合を含む）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い（あわせて志望動機についても確認）、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
国語教育	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への関心及び理解、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。
社会科教育	人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義等を行い、レポートを課し、人文、社会等にかかる理解や関心や、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
数学教育	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代わって記述式試験で評価することがある。
理科教育	自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課し、自然科学に関する関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。

専修名	理解力・表現力試験等の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
音楽教育	<p>小学校音楽科の授業内容に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ、その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の初等教育への意欲を評価する。実技試験として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上）</li> </ul>
美術教育	<p>図画工作（美術）に関する課題やテーマを与え、実技とレポートを課し、図画工作（美術）における理解力と思考力、また技量と表現力を問い、この分野に強みを持つ小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p>
保健体育	<p>運動に関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p> <p>上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む）、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。</p>
家庭科教育	<p>家庭科の学習内容に関するテーマを与え、それについて白板等を使って説明等を行わせる。その内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、家庭科の知識・理解のほか、小学校で家庭科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上</li> <li>・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上</li> <li>・全国高等学校家庭科保育技術検定2級以上</li> </ul> <p>（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会）</p>
技術教育	<p>ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技等を行わせ、その過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせ（※）、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式をもって中学校技術科の教員になることを目指す理由や、ものづくりについての経験等を確認する。</p> <p>※志願者数により、プレゼンテーションに代わってレポートを課すことがある。</p>
英語教育	<p>英語教育に関する講義を行い、レポートを課したのち、レポートについてプレゼンテーションを行わせる。さらに、プレゼンテーションに基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。</p> <p>○加点対象となる公的な資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英検1級、英検準1級、英検2級</li> </ul>
書道教育	<p>書道（楷書、行書、かな）に関する課題やテーマを与え、実技等を行い、書道にかかる理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育にかかる熱意及び意欲について確認する。</p>
文化遺産教育	<p>文化遺産の材質に関する講義を行い、レポートを課したのち、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行い、文化遺産にかかる理解や関心のほか、理科ないし美術を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。</p>

## ◎大学入試センター試験の教科・科目一覧表

## ○外国語

- ・「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」

## ○国語

- ・「国語」

## ○数学

- ・「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」

- ・「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」

## ○地理歴史・公民

- ・「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」

- ・「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」

## ○理科

- ・「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」

- ・「物理」「化学」「生物」「地学」

1. 外国語については、全専修必須とする。
2. 外国語のうち「英語」を選択した場合、【筆記】のほか、【リスニング】の成績も用いる。  
その場合、【筆記】（200点満点）と【リスニング】（50点満点）の合計得点を200点満点に換算する。  
なお、【リスニング】免除者については、【筆記】（200点満点）のみを用いる。
3. 数学、地理歴史・公民、理科（基礎を付していない科目）について2科目受験した場合、高得点の科目の成績を優先して用いる。
4. 理科（基礎を付している科目）については、2科目受験を1科目受験として扱う。
5. 理科（基礎を付している科目）2科目 及び 理科（基礎を付していない科目）1科目を受験している場合、どちらか高得点の科目の成績を優先して用いる。
6. 理科において、理科（基礎を付している科目）から2科目、理科（基礎を付していない科目）から1科目を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することも可とする。

例：理科（基礎を付している科目）→物理基礎、化学基礎

理科（基礎を付していない科目）→化学

専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
教育学	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学から 1 科目 (100 点) ④数学 (③以外の科目)、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の 1 科目 (100 点) 合計 600 点
心理学	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学から 1 科目 (100 点) ④地理歴史・公民から 1 科目 (100 点) 合計 600 点
幼年教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学から 2 科目 (200 点) 合計 600 点
特別支援教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②下記の i. ii. のいずれかのうち、高得点のもの (400 点) i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の 2 科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科のうち高得点の 4 科目 合計 600 点
国語教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学、地理歴史・公民、理科から高得点の 2 科目 (200 点) 合計 600 点
社会科教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②地理歴史・公民から 2 科目 (200 点) ③下記の i. から iv. のうち、最も高得点のもの (200 点) i. 「国語」 ii. 数学から 2 科目 iii. 理科から 2 科目 iv. 数学から 1 科目及び理科から 1 科目 合計 600 点



専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
数学教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」 (200 点) ③下記の i. ~iv. のうち、最も高得点のもの (200 点) i. 「国語」 ii. 地理歴史・公民から 2 科目 iii. 理科から 2 科目 iv. 地理歴史・公民から 1 科目 及び 理科から 1 科目 <div style="text-align: right;">合計 600 点</div>
理科教育	○以下の(1)または(2)のうち、高得点のもの (1) ①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③理科から 1 科目 (100 点) ④地理歴史・公民、数学、理科 (③以外の科目) のうち、最も高得点の 1 科目 (100 点) (2) ①外国語から 1 科目 (200 点) ②理科から 2 科目 (200 点) ③数学から 2 科目、または地理歴史・公民から 2 科目のうち、いずれか高得点のもの (200 点) <div style="text-align: right;">(1)(2) いずれも合計 600 点</div>
音楽教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から 1 科目 (100 点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>
美術教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から 1 科目 (100 点) ④数学 (「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の科目)、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の 1 科目 (100 点) <div style="text-align: right;">合計 600 点</div>
保健体育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から 1 科目 (100 点) <div style="text-align: right;">合計 500 点</div>

専修名	大学入試センター試験 受験科目指定一覧
家庭科教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②地理歴史・公民から 1 科目 (100 点) ③理科から 1 科目 (100 点) ④地理歴史・公民または理科のうち、上記②③の次に高得点の 1 科目 (100 点) <u>合計 500 点</u>
技術教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から 1 科目 (100 点) ③数学から「数学Ⅰ」及び「数学Ⅰ・数学A」以外の 1 科目 (100 点) ④理科 (基礎を付していない科目) から 1 科目、 または理科 (基礎を付している科目) から 2 科目 (100 点) <u>合計 500 点</u>
英語教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③「数学Ⅰ」または「数学Ⅰ・数学A」から 1 科目 (100 点) ④「数学Ⅱ」または「数学Ⅱ・数学B」から 1 科目 (100 点) <u>合計 600 点</u>
書道教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、最も高得点の 1 科目 (100 点) <u>合計 500 点</u>
文化遺産教育	①外国語から 1 科目 (200 点) ②「国語」 (200 点) ③数学、地理歴史・公民、理科のうち、高得点の 2 科目 (200 点) <u>合計 600 点</u>